

田村隆一 詩人。<敗戦>後を代表する詩集「四千の日と夜」をはじめ、文明批評的な立場で、詩を発表し続けた。

たむらりゅういち

関東大震災・1923 = 東京府北豊島郡巢鴨村(現大塚)の大塚三業組合を創始し、割烹を営む家に生れた。

9つまでは大病の連続で、死にそうになったことも二度、三度。

世界恐慌・1929 = 6歳：花柳界のはずれにある尋常小学校に入学。

満州事変・1931 = 8歳：

五一五事件・1932 = **9歳**：

この頃には丈夫になって、野球に熱中。

芥川直木賞始1935 = 12歳：府立三商に入学し、花柳界から外に出た。

日中戦争始・1937 = 14歳：

健保+総動員 1938 = 15歳：この頃から_モダニズム系の同人雑誌{新領土}{ル・バル}などに参加。

大政翼賛会・1940 = 17歳：卒業し、徴兵延期のため、

日米開戦・1941 = **18歳**：明治大学文芸科に入学。

創価学会検挙1943 = 20歳：明治大学文芸科を卒業し、横須賀の海兵団に入る。

国内各地を異動、

敗戦・1945 = 22歳：陸戦隊で舞鶴地区防衛にあたっていた時に終戦。復員後、東京に戻り、

新憲法公布・1946 = 23歳：_鮎川信夫らと{荒地}を創刊するが、まもなく廃刊。

朝鮮戦争始・1950 = **27歳**：

独立回復・1951 = 28歳：*年刊{荒地詩集}を発刊。

50年代を中心に、クィーンやロアルド・ダール、クリスティなど多くの翻訳書もある。

国連加盟・1956 = 33歳：*戦後10年間の作品による**第一詩集「四千の日と夜」**を刊行。

イスタラマ・1958 = 35歳：_{荒地詩集}は、この年まで刊行した。

美智子妃・1959 = **36歳**：

安保闘争・1960 = 37歳：

全国総合計画1962 = 39歳：_第二詩集「言葉のない世界」で、

TV宇宙中継始1963 = 40歳：***高村光太郎賞**。

いざなぎ景気1966 = 43歳：_戦後20年間の作品による「田村隆一詩集」を刊行。

美濃部都知事1967 = 44歳：_第三詩集「緑の思想」を刊行。

電ヶ関ビル・1968 = **45歳**：_評論集「若い荒地」,

石油ショック1973 = 50歳：_文明批評的な一貫した主題の追求と体験的に身につけた自然観とを一体化した「新年の手紙」を刊行。

JALハイジャック・1977 = **54歳**：_無限賞。

中曽根内閣・1982 = 59歳：詩集「スコットランドの水車小屋」,

・・・1984 = 61歳：_「奴隷の歓び」で読売文学賞を受賞。

バブル始・1986 = **63歳**：

55年体制終・1993 = 70歳：_「ハミングバード」で現代詩人賞。

・・・1998 = 75歳：_没した。